



特集 「かわさきそだち」で夏バテ防止!

川崎市 環境情報

検索

No.575



人口150万人を超え、産業・工業といったイメージが強い川崎市。実は、農地が約530ha*（等々力陸上競技場約150個分）存在します。採れたての旬な野菜や果物などを購入できる「直売所」が多数あり、「農体験イベント」や「体験型農園」も実施されるなど、都市農業を身近に感じていただくことができます。

市内では、野菜、果物、花きなど様々な農作物が栽培されており、夏に出荷される夏野菜は、ビタミンやミネラル、食物繊維、機能性成分が豊富に含まれ、暑い夏を元気に過ごすために欠かせない食材です。また川崎で生まれた唐辛子の新品種「香辛子」は代謝促進効果が抜群です。新鮮で安心・安全な市内産農作物「かわさきそだち」を食べて、夏バテを吹き飛ばしましょう!

*川崎市の農地面積：約530ha（令和2年度川崎市固定資産概要調書より）

